

## 丹沢表尾根縦走

山行日：2012.12.13

会山行

天候：晴れ

コース：座間 6:02—渋沢 6:30/6:48—大倉 7:00—牛首 7:45—三ノ塔 8:55/9:45—鳥尾山 10:08—行者岳 10:40—新大日岳 11:38—塔ノ岳 12:33/13:08—花立山荘 13:44—大倉 16:17



渋沢駅構内の小田急 OX9 時開店、南口駅前にローソンがある（徒歩 3分）



渋沢到着後 30 分待ってバスに乗車  
満席で大倉に 10 分で到着



すぐに牛首に向かって歩き出す。今回は時間を短縮するためにあえて林道を行く



牛首に 7:45 標準時間は 60 分にて  
15 分早いペースで到着

牛首より 5 分登ったところにある  
見落としがちな山の神、土砂で埋もれて  
きている



平坦な植林帯の後に  
尾根唯一の  
ベンチ 8:03





長い鹿柵に沿って高度を上げてゆく  
少し斜面の傾斜が強くなってきた



岩場が出てきたら富士山がよく見えるビューポイント



やがて一番の急登を  
こなすと主尾根に  
近くなってきた  
延々と続く丸太階段  
縦走路に 8:52 合流  
大倉から 1 時間 50 分



会山行のコースは旧富士見山荘までタクシー8:00、スタート 三ノ塔 9:25 着予定寒空の下 30 分待つ



9 時過ぎ眼下の二ノ塔山頂に着いたのが見えた

しばらくハーモニカの練習

素晴らしいロケーションである。大島の隣に利島が見える

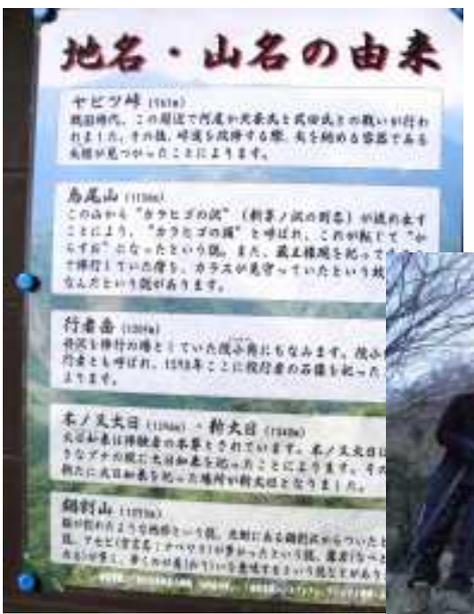




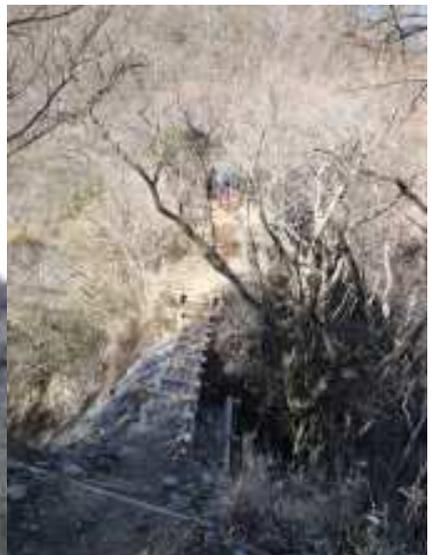
大山の右湘南海岸烏帽子岩  
が肉眼では見えていた



相州アルプス全貌  
手前には鍋嵐  
辺室山  
宮が瀬尾根



メンバーは 9:30 に三ノ塔着  
9:48 鳥尾山に向かう

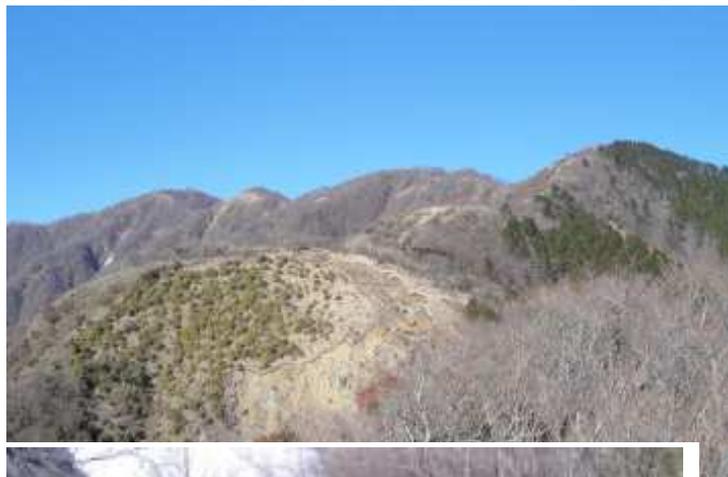




鳥尾山に 10:08



昨日帰社時にNK からトラブル問い合わせがあったり  
扁桃腺が腫れたり一時どうしようかと思ったが来てよかった



喉を冷やさない  
ようにマスク  
着用  
手前のピークが  
崩壊がすごい  
行者ヶ岳 10:40  
コース唯一の難所



さきほど  
見た  
崩落箇所



コルは  
両側が切れ落ちている

新大日茶店 11:38





野生の鹿であるがまったく動じない



この辺りは時期によっては霧氷に覆われると、素晴らしいエリアになる場所



ようやく終点のピーク、三ノ塔が見えてきた  
三角沢ノ頭、ここもすさまじいばかりの大崩壊



大きな山容の三ノ塔と大山への表尾根稜線  
塔ノ岳山頂に 12:33 着



平日のも関わらず塔ノ岳山頂には多くの老若男女が休んでいた。期待に違わず 360 度の大展望だった





富士の右隣、聖岳—赤石—荒川三山—塩見岳—白峰三山—甲斐駒ヶ岳が一望であった・・・感動の一言のみ

鍋割山稜と  
ユーシン  
エリア



じっくり  
遅めの昼食  
13:08  
下山開始



金冷し  
蛭ヶ岳の  
展望が良い  
花立山 13:45





花立山荘でしばし休憩



ここからが階段地獄の始まり、下れど、下れど階段・・・焦らずゆっくりと・・・



14:30

堀山ノ家は無人であったがアイス BOX 内に100円ジュースの自動販売機があった



無人の駒止茶屋 14:57



営業中の見晴茶屋 15:31



大倉バス停に 16:17

次のバス時刻まで、売店にて反省会

